

# 未来を飛ばたく子供たちへ

～ 富士市の情報教育・国際理解教育 ～



いよいよ二〇〇〇年。これから情報化・国際化がさらに進む中、富士市の小中学校でもこれに対応する教育が進められています。  
今回の特集では、未来に向けて市内の小中学校で取り組んでいる情報教育と国際理解教育についてご紹介します。



▲小学校ではおよそ2人に1台、中学校には1人に1台の割合で、パソコンがパソコン室に整備され、それぞれの教科で教材ソフトなどを利用して学習をしています（青葉台小学校）。

## 富士市の情報教育

情報化がますます進む中、情報を判断・選択・整理し、処理する力とともに、新たな情報をつくり出し発信していく力が求められています。こうした情報化に対応するため、市内の小中学校ではパソコンを使った情報教育を進めています。

平成十一年十月で、市内の小学校二十五校、中学校十四校すべてに最新のパソコンが整備されました。子供たちはそこでコンピュータにふれ、情報の持つ特徴やその活用方法などを学びながら、みずから考える力や表現する力をはぐくんでいます。

また現在、インターネットは中学校全校と小学校二校（十一年度中に新たに四校へ設置予定）に整備され、授業や子供たちの自主的な学習や交流・共同学習などに活用されています。



▶小学校の低学年では、パソコンを使って、絵をかく授業も行われています（青葉台小学校）。

# 新春のごあいさつ

新しい世紀に向けて活力ある都市に

富士市長

鈴木清見



明けましておめでとうございます。ことしは二十世紀を締めくくる年であり、新しい世紀への夢と希望を抱き、本市の限らない飛躍発展を継承する極めて意義深い年でもあります。四月から始まる介護保険制度、地方分権一括法の施行など、本市にとりましても大きな変革と試練の時代を迎えておりますが、安全安心の市民生活の確保と活力ある都市づくりに向けて、職員ともども努力してまいります。

本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

健康で明るいまちづくりを

富士市議会議員

松本貞彦



明けましておめでとうございます。皆様には清々しい新年を迎えられたことと心より喜び申し上げます。新世紀へのかけ橋となる本年は、富士市のさらなる躍進の年として、大いに期待されるところであります。市議会といたしましては、市民の皆さんの負託にこたえ、健康で明るいまちづくりに向け、なお一層努力してまいります。

どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲学校の図書館では、本の検索もパソコンを利用しています（青葉台小学校）。



▲▶天間小学校6年生の各学級では、パソコンを使って曲づくりに挑戦。できた歌は卒業式で発表します。



## 未来をつくる情報を集め、発信できる人に



▲インターネットを通じて学校紹介や学校での出来事のお知らせを提供している学校もあります（岩松中学校のホームページ）。

▶中学校でも、各教科でパソコンが使われているほか、選択授業や部活動でも利用されています（富士南中学校パソコン部）。



国際化社会にあつて、必要なのは外国の日本とは異なる文化を知ること、相手を理解し自分を表現するための会話力。小中学校では、異なる文化を持つ人との交流を通じ、お互いを理解し合う心をはぐくむ国際理解教育が進められています。

市の教育委員会には二人のALT（外国語指導助手）が所属。市内の小中学校を訪問し、歌やゲームを織りまぜながら授業を行っています。また、外国人との国際交流を行っている学校もあります。

これらは子供たちにとって生きた英語や文化を学び、国際感覚を身につける絶好の機会になっています。



▲吉原小学校は文部省と市教育委員会の指定を受けて、「国際交流科」を設置。全学級週に1時間、楽しく英語を学んでいます。



▲姉妹校との交流から関心を持ったことについてまとめました。

▲富士中学校では、平成九年からオーストラリアの「キングスパーク校」との姉妹校交流を続けています。お互いの学校を訪問したり、Eメールのやりとりをしたりするなどしています。

## 富士市の国際理解教育

お互いを理解し合える心を持った国際人に



▲十一月に富士中学校で行われた「国際交流の集い」では、県内に住む外国人を招き、生徒たちはそれぞれの国の文化などを学びました。



▲ALTのショーナ先生と英語であいさつを交わし、クリスマスカードを手渡しました（吉原小学校）。



▲ALTのダン先生と一緒に英語の授業。ALTは1年間に市内の全中学校を順次訪問しています（岳陽中学校）。

